



#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ツール・ド・九州2023」の機運醸成を図るため、県内各地でのイベント実施や、シテイドレッシングを行った。</li> <li>・大会当日の賑わいづくりや、WEBを活用した誘客を実施し、想定を上回る約27,000人が日田市で観戦し、大きな賑わいを創出した。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内のプロスポーツチームが学校等への訪問交流を実施することにより、選手と子どもたちとの交流機会やスポーツチームの情報発信の場を創出することができた。</li> <li>・県内各地で行った出張型スケートボード教室には253人が参加した。また、県内2回目の開催となったキッズ向けスケートボードコンテストには、209人が参加、800人以上が観覧し、アーバンスポーツに親しむ機運の醸成が図られた。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元ラグビー日本代表キャプテンの廣瀬俊朗氏と連携し、タグラグビーや車いすラグビーなど、様々な形で楽しむ体験会を開催した。また、MR(複合現実)やAR(拡張現実)などの先端技術を活用した体験会を県内各地のイベント会場等で10回実施し、未経験者や観戦したことのない人にも魅力を伝えることができた。</li> <li>・ラグビーワールドカップ2023フランス大会の日本代表応援イベントとして、大分駅前広場で日本代表戦のパブリックビューイングを2回実施した。それぞれ約1,000人のファンが来場し、多くの県民へラグビーに親しむ機会を提供することができた。</li> </ul>

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(5年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②	ツール・ド・九州推進事業	103.8	358
②	スポーツによる地域の元気づくり事業	105.3	358
	大分スポーツ地域活力創出事業	83.3	358
③	おおいたラグビー次世代継承事業	106.3	359

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第9回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R5.8)</p> <p>・スポーツが地域の元気づくりに貢献していけるよう、日本代表チーム等の合宿誘致に努めていただきたい。</p>	<p>○R5年大分県第4回定例会(R5.12)</p> <p>・多種多様なプロスポーツチームが本県を拠点に活動していることは、県民に勇気や活力を与えていると思う。こうしたプロスポーツを活かした地域の活性化に県としても取り組んでいただきたい。</p>
--	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年に大きな盛り上がりを見せたツール・ド・九州大分ステージをR6年も継続開催することにより、引き続き参加チームの合宿誘致をはじめ、観戦に訪れた方々に対するおもてなしを充実させ、交流人口の拡大に取り組む。また、本大会を機としたサイクリストの誘客にも繋げるため、インフルエンサー等を活用した県内外への情報発信を強化する。</li> <li>・県内の優れたスポーツ施設や合宿受入実績を活かすことに加え、温泉や食事等の本県の魅力をPRし、県と市町村、競技団体等が一体となって、スポーツ合宿の誘致に取り組む。</li> <li>・より多くの県民がスポーツに親しむ機運を醸成するため、プロスポーツチームによる小学校や総合型地域スポーツクラブへの訪問交流や、大分駅構内のデジタルサイネージを活用してプロスポーツチームの魅力を発信するほか、県内各プロスポーツチームのホームゲームへの県民無料招待を実施する。</li> <li>・ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承をさらに推し進めるため、横浜キヤノンイーグルスや大分県ラグビーフットボール協会との連携を強化し、大分県ラグビーフェスティバルやラグビークリニック等の開催に取り組む。</li> </ul>